

教科 Subject	国語科		科目 Course	国語総合（現代文）	学年 Grade	4	単位数 Credits	2
教科書 Textbook	精選 国語総合（大修館）			副教材Additional Text /materials	精選 国語総合学習課題ノート（大修館） 漢検 漢字学習トレーニング 3/準2/2級（日本漢字能力検定協会）			
科目の目標 Course Objectives		様々な文章を読解し、事物に対する認識や考察力を高め、正確な理解力と深い洞察力を身につける。 副教材を活用する事で、漢字の知識や読解力など、基礎的な力を養成する。						
評価の基準 Assessment Standards		定期試験（80%）、提出物・授業態度（20%）の総合評価						
Term	Month	Week	学習内容&課題 Study Contents		到達目標 Students will be able to ~			
1 学期	4	1	随想Ⅰ 挑戦		* 基礎問題集は定期的に解いていく。 * 漢字問題集の範囲を指定し、授業で小テストを実施する。 随筆の読解方法を学ぶ。表現を読み取り、筆者の主張を正確に捉える。			
		2						
		3						
	5	4	小説Ⅰ 羅生門		文学史において、著名な作品を読解する。 現代小説を読み、心情を読み取る。			
		5						
6	7	7	評論Ⅰ 水の東西		評論を読み、論理展開を押さえ、筆者の主張を理解する。			
		8						
7	11	9	詩 蝨のうへ		詩の世界を鑑賞する。			
		10	一つのメルヘン		詩の技法を学ぶ。			
12	12	11	自分の感受性くらい		(1つ選択、残りは朗読程度)			
		12						
2 学期	9	13	評論Ⅱ 動的平衡としての生物多様性		筆者の論理性をもったアプローチを理解し、内容を読み解くとともに、人生観や価値観を育む。			
		14						
		15						
	10	16	小説Ⅱ 鏡		場面や心情の変化を表現に即して読み味わう。 作品の構造や作者の工夫を正確に読み取り、小説のおもしろさを理解する。			
		17						
	11	18	日本語 短歌を訳す-言葉の壁を越えて（参考程度）		近代短歌、近代俳句を学ばせることで、短文による日本文学の良さを発見し、学ぶ。			
19		短歌 十五首		(生徒に一首選ばせて、調べ学習の後、発表)				
12	21	20	俳句 十二句					
		22						
23	24	23	評論Ⅱ 自然と人間の関係をとおして考える		論理的な構成を理解し、筆者の主張を読み取る。 筆者の発想の豊かさや視点のおもしろさに着目し、表現の巧みさを理解する。			
		24						
25	26	25						
		26						
3 学期	1	27	評論Ⅲ 白		ものの見方、感じ方、考え方を豊かにする。 論理的な構成を理解し、自己の表現活動に繋げる。			
		28						
		29						
	2	30	小説Ⅲ セメント樽の中の手紙		プロレタリア文学について理解し、今日にも繋がる人間疎外の状況を捉える。			
		31	なめとこ山の熊（読書程度）		宮沢賢治の小説の世界を体感する。 独特の言葉の使い方など、作品の世界観を丁寧に読み取る。			
	3	34	32					
33								
35	35	34						
		35						

### 履修者へのメッセージ Message for Students

現代文は、随筆や小説、評論など、さまざまな文章を読む事で、自分自身のものの見方や考え方を深め、広げていく事ができる科目です。一つ一つの文章と向き合い、自身の価値観や人生観を見つめ直し、確立させていくのに役立てましょう。

また、短歌や俳句は日本が誇る言語芸術です。作品の世界観を楽しみ、日本文化への理解を深めましょう。

高校1年生は大学受験へ向けての基礎力を養う学年ですので、問題演習や漢字の学習も怠らずにしっかり行ってください。

教科 Subject	国語科		科目 Course	国語総合（古典）	学年 Grade	4	単位数 Credits	3	
教科書 Textbook	精選 国語総合（大修館）			副教材Additional Text /materials	精選 国語総合学習課題ノート（大修館） 古典文法・演習ドリル、漢文句法・演習ドリル（旺文社）				
科目の目標 Course Objectives		古典に親しむことで、古代から現代へ繋がる言語文化に関心を持つ							
評価の基準 Assessment Standards		定期試験（80％）、提出物・授業態度（20％）の総合評価							
Term	Month	Week	学習内容&課題 Study Contents		到達目標 Students will be able to ～				
1 学期	4	1	古文のとびら		古文の基礎知識（歴史的仮名遣いなど）の確認 動詞の復習をしながら、古典単語の意味を知る。 説話集の特色を理解し、古文に親しむ 音読の練習をする。 芥川龍之介「地獄変」と読み比べる。				
		2	沙石集「ねずみの婿とり」						
		3	<b>（古典文法：格助詞）</b>						
	5	4	宇治拾遺物語「絵仏師良秀」		随筆の特徴をつかみ、文学史上の意義を確認する。 基本的な助動詞について学習する。 係り結びの法則を正確に理解する。 漢文訓読の決まりを学ぶ。 返読文字、再読文字を覚える。				
		5	<b>（古典文法：接続助詞、係助詞）</b>						
		6							
	6	7	徒然草「高名の木登り」		随筆の特徴をつかみ、文学史上の意義を確認する。 基本的な助動詞について学習する。 係り結びの法則を正確に理解する。 漢文訓読の決まりを学ぶ。 返読文字、再読文字を覚える。				
8		<b>（古典文法：副助詞、終助詞）</b>							
9									
7	10	10	格言、故事成語「五十歩百歩」「矛盾」		随筆の特徴をつかみ、文学史上の意義を確認する。 基本的な助動詞について学習する。 係り結びの法則を正確に理解する。 漢文訓読の決まりを学ぶ。 返読文字、再読文字を覚える。				
		11	<b>（漢文句法：返り点、送りかな1・2、書き下し文）</b>						
		12							
2 学期	9	13	枕草子「はしたなきもの」		中学で学習した「春はあけぼの」を思い出ししながら、枕草子の文学的特徴について理解する。 新出の助動詞について学習するとともに敬語表現を理解する。 主語の省略に注意しながら、現代語訳の練習に取り組む。				
		14	<b>（古典文法：敬語①敬語の種類）</b>						
		15	枕草子「雪のいと高う降りたるを」						
	10	16	<b>（敬語②二種類以上の意味を持つ敬語）</b>		歌物語の特徴をつかみ、和歌の表現技法について学ぶ。 作中の登場人物の心情を理解する。 平安時代の恋愛・結婚のあり方を理解する。 作中の作者の心情を理解し、情趣を読み取る。 和歌にこめられた心情を捉える。				
		17	<b>（敬語③敬意の方向）</b>						
		18	「筒井筒」（伊勢物語）＊どちらかを選択						
	11	19	「あづさ弓」（伊勢物語）		漢文の重要語句、重要句法について学ぶ。 孔子や孟子の思想を読み、儒家思想について理解する。 漢文訓読の上達を目指す。				
		20	古典の窓③恋愛と結婚						
		21							
	12	22	22	孔子と孟子の思想		漢文の重要語句、重要句法について学ぶ。 孔子や孟子の思想を読み、儒家思想について理解する。 漢文訓読の上達を目指す。			
			23						
			24	<b>（漢文句法：置き字、返読文字、再読文字）</b>					
3 学期	1	25			和歌について、基礎知識を復習し、掛詞などの技法に注意して読解する。文学史的意義を理解する。 日記文学について理解する。				
		26							
		27	万葉集						
	2	28			和歌について、基礎知識を復習し、掛詞などの技法に注意して読解する。文学史的意義を理解する。 日記文学について理解する。				
		29	土佐日記「門出」						
		30							
	3	31	31	先従隗始		和歌について、基礎知識を復習し、掛詞などの技法に注意して読解する。文学史的意義を理解する。 日記文学について理解する。			
			32						
			33	<b>（漢文句法：否定、不可能・禁止、疑問・反語）</b>					
3	34	34			和歌について、基礎知識を復習し、掛詞などの技法に注意して読解する。文学史的意義を理解する。 日記文学について理解する。				
		35							

### 履修者へのメッセージ Message for Students

古典を学ぶ事で、昔の人々が何を考え感じたのか、どのように生きたかを知る事は、現代に生きる私たちの生活のヒントにもなります。高校からの勉強は、多様なものの方見方や考え方を知り、自分の知識の幅を広げることも重要です。暗記させられるものとして古文や漢文を学ぶのではなく、新しい思考のため、日本の文化のルーツや言語表現について学ぶために、積極的に学習を進めていきましょう。

教科 Subject	国語科		科目 Course	現代文B	学年 Grade	5	単位数 Credits	3
教科書 Textbook	新編 現代文B (大修館)			副教材Additional Text /materials	新編 現代文B 現代文学習課題ノート (大修館) 漢検 漢字学習トレーニング 3/準2/2級 (日本漢字能力検定協会)			
科目の目標 Course Objectives		様々な文章を読解し、自己の認識との検証を進めるなかで、正確な理解力と深い洞察力を身につける。 大学入試を意識して問題集を活用し、読解・解答作成の基礎を身につけさせる。						
評価の基準 Assessment Standards		定期試験 (80%)、提出物・授業態度 (20%) の総合評価						
Term	Month	Week	学習内容&課題 Study Contents		到達目標 Students will be able to ~			
1 学期	4	1	「迷う」力のすばらしさ		・筆者の考えを読み取り、自分の現在や明日について考えを深める。 ・時間の経過をおさえながら、登場人物の心情を読み解く。			
		2	ナイン					
		3						
	5	4	言葉は変わるもの、されど伝承すべきもの		・日常で使われている言葉を見つめ直し、日本語の豊かさに目を向ける。			
		5						
	6	6	情報の力関係		・社会の中で使われる文章や表現に触れ、その意図や効果を考える。			
		7						
8								
7	9	殺し文句は永遠に—恋する伊勢物語		・古典の現代における意味や日本文化の特質について考えを深める。				
		10						
	11	小諸なる古城のほitori		・近代から現代までの詩に触れ、その表現の豊さを味わう。 ・作品のリズムや響きを考えながら工夫して音読をする。				
		12	小景異情/六月/コスモス					
2 学期	9	13	ももこのいきもの図鑑 (読書程度)		・ユーモアや人間性に富んだ、特色のある文章を楽しむ。 ・生き物の生態や現代における「自然」のあり方について考えを深める。 ・生き物の進化の流れを捉える。			
		14	ゴリラの思いやり					
		15						
		16	ウサギの耳はなぜ長い?					
	10	17	山月記		・近代文学の名作を、登場人物の性格や心情に着目して読み味わう。 ・場面ごとに分けて、内容を正しく理解する。			
		18						
		19						
	11	20	おぼろ月		・人情の機微に触れた小説を読み、人と人のつながりを考える。			
		21						
		22						
		23						
	12	24	幸せの分量		・働くことへの筆者の考えを読み取り、自分の考えをもつ。			
25								
26								
3 学期	1	27	家族化するペット		・現代における家族のあり方や情報社会の問題点について、筆者の主張を読み取る。			
		28	こころ					
		29						
	2	30	こころ		・近代文学の名作を味わい、場面の推移や登場人物の心情の移り変わりを読み取る。			
		31						
		32						
	3	33						
		34						
		35						

### 履修者へのメッセージ Message for Students

高校一年生時の文章に比べ、なかなか一度読んだだけでは理解しにくいものが多いと思います。そこであきらめず、筆者がなにを伝えたいのか、描写の中にどのような工夫がされているのかを、粘り強く何度も読み返して考えてください。特に、小説を読むときは自分の感想・解釈をもつことがとても大切です。また、「ただひとつの答え」を求めるのではなく、その作品がもつ書体の違いや魅力、表現の豊かさを楽しんで欲しいと思います。

教科 Subject	国語科		科目 Course	古典B	学年 Grade	5	単位数 Credits	3
教科書 Textbook	新編 古典B (大修館)			副教材Additional Text /materials	新編古典B学習課題ノート (大修館) さくらさく古文単語 (浜島書店) 古典文法・演習ドリル、漢文句法・演習ドリル (旺文社)			
科目の目標 Course Objectives	古文に関してはさまざまなジャンルの古典作品を学ぶことで日本の伝統・文化を理解する。漢文に関してはより長文を読んでいくことで、中国古典に対する理解を深め、日本文化に与えた影響を知る。							
評価の基準 Assessment Standards	定期試験 (80%)、提出物・授業態度 (20%) の総合評価							
Term	Month	Week	学習内容&課題 Study Contents		到達目標 Students will be able to ~			
1 学期	4	1	1年間の学習予告		学習概要の説明、授業の進め方や予習方法、評価方法の説明 <b>【説話の特色理解】</b> ・音読の重要性、歴史的仮名遣いの復習、用言などの復習 <b>【随筆の特色理解】</b> ・助動詞や係り結びなどの復習、現代語訳の練習 ・随筆作品に描かれる作者の思想、心情、文体の理解 <b>【漢文の基礎】</b> ・訓点、助字、置き字、再読文字の理解 ・書き下し文、現代語訳の練習 ・故事成語の知識			
		2	説話 今昔物語集『安倍晴明』					
		3						
	5	4	随筆 徒然草『今日はそのことをなさんと思へど』					
		5						
	6							
	6	7	故事成語 『漁夫之利』『借虎威』(読書程度)					
8		『蛇足』(文法確認及び解説)						
9	(漢文句法:使役、受け身、仮定、限定)							
10								
7								
11	(古典文法:動詞~形容詞まで、復習)							
12								
2 学期	9	13	伊勢物語『あずま下り』		<b>【歌物語の特色理解】</b> ・和歌の表現技法、訳の練習 ・物語における和歌効果の理解 <b>【軍記物語の特色理解】</b> ・文学史的意味の理解 ・敬語法の習得 <b>【中国史記の特色理解】</b> ・長文の漢文に慣れる ・中国古代歴史書の面白みを味わう ・漢文の句法			
		14						
		15						
		16	平家物語『祇園精舎』					
	10	17						
		18						
	19	史記『四面楚歌』						
	20							
	11	21	(漢文句法:願望、詠嘆)					
		22						
23								
24	方丈記『ゆく河の流れ』							
12	25							
	26	(古典文法:助動詞、総復習)						
3 学期	1	27	百人一首		<b>【和歌の特色理解】</b> ・和歌のきまり、表現技法の理解と和歌の世界観を味わう <b>【中国詩の特色理解】</b> ・唐詩の復習を経て、古詩への理解に繋げる ・唐詩、古詩の形式やきまりを学習する <b>【日記文学の特色理解】</b> ・作者の心情、文体の理解と時代背景の理解 ・文法の復習			
		28						
		29	漢詩『絶句』『贈別』(*『春望』)					
	2	30						
		31	(漢文句法:残り全部)					
	32							
	33	更級日記『あこがれ』						
	3	34						
		35	(古典文法:助詞~敬語、総復習)					

### 履修者へのメッセージ Message for Students

まず、この一年間で古典文法の基本をすべて学習する。動詞・助動詞・敬語法の三本柱の知識を盤石なものとしたい。授業ではできるだけさまざまなジャンルの作品を読み、その特徴や基礎知識を身につけていく。漢文については副教材の「漢文基本ノート」の習得を目指し、授業教材の中で知識を確認していく。古文・漢文ともに毎回必ず予習をし、自らの力でノート作りをすること。授業では自身の弱点発見と新しい学習事項の吸収に全力で臨んでほしい。たいへんな学習量となるがこの地道な作業を一年間続けることで受験に堪える学力が身につくと信じ、努力してほしい。

教科 Subject	国語科		科目 Course	国語表現	学年 Grade	5	単位数 Credits	4
教科書 Textbook	国語表現（教育出版）			副教材Additional Text /materials	国語表現演習ノート（教育出版）			
科目の目標 Course Objectives		自分の考えを他者に伝える「書く力」「話す力」を身につけるとともに高め、社会生活や大学受験で求められるコミュニケーション能力を養っていく。						
評価の基準 Assessment Standards		課題の完成度（70%）、発表する力（30%）を評価する。						
Term	Month	Week	学習内容&課題 Study Contents		到達目標 Students will be able to ~			
1 学期	4	1	1 言葉に変える		演習ノートを用いて、仮名遣いや送り仮名について復習し、表現について学んだ後、視写や聴写を通して表現する力を養う。 発声方法や文章の読み方について学び、実際にスピーチをすることで、相手にわかりやすく伝える方法を身につける。 漢字の知識を深め、語彙を広げる。 日常的に使う挨拶や敬語表現を学び、コミュニケーション能力を養う。 実用的な用法ではない表現を学ぶ事で、言葉のセンスを磨く。 さまざまな文章表現について知り、実際に書けるようにする。  *毎週1コマ漢字検定の勉強を取り入れる。			
		2	2 声の表現					
		3						
	5	4	3 漢字と語彙					
		5	4 人とつながる言葉					
	6	6	5 言葉を遊ぶ					
		7	6 文章表現の基礎					
7	11							
2 学期	9	13	9 論文作成法		小論文を作成する上で必要な知識を養い、実践に向けての力を養う。  意見形成やそれを支える根拠の重要性について知り、自分の意見を論理的に述べる。  要約やデータを読み取る力を養い、さまざまな形の小論文を読み、書く。  自分の意見を確立させ、他者と意見交換を行う。 他者の意見を認めながら、結論を導き出したり、世論形成の過程を学ぶ。			
		14						
		15	7 小論文Ⅰ					
	10	16						
		17	8 小論文Ⅱ					
	11	18						
		19	1 2 話し合いの方法					
20								
3 学期	1	21	1 0 プレゼンテーションの方法		自分の広告を作成し、効果的なプレゼンテーションの方法を学ぶ。また、効果的なスライドの作成方法を身につける。  自己分析を通して、面接における適切な応答の仕方を身につける。  表現方法を工夫し、独自の世界観を作り上げるとともに、友達の作品を読み、互いに評価し合う。  現代の膨大なメディアに積極的に関わり、それぞれの特徴を学ぶ。			
		22						
		23	1 1 面接					
	2	24	1 3 物語の創作					
		25						
3	26	1 4 メディアリテラシー						

#### 履修者へのメッセージ Message for Students

国語力とは、「書く」「読む」「聞く」「話す」という言語活動の総合力です。国語表現では、特に「書く」「話す」「聞く」という力に焦点をあて、バランスの取れた言語能力を育成する事を目指します。単元ごとに発表する場を設け、人前で話すことに慣れていくとともに、自己表現力を高め、入試での面接や文章作成で活用できるような国語力を育成していきます。また、漢字検定の勉強も取り入れ、この学年で漢字検定準2級または2級の取得を目指します。

教科 Subject	国語科		科目 Course	国語総合（国語演習）	学年 Grade	2	単位数 Credits	2
教科書 Textbook				副教材Additional Text /materials	アドバンス古典Ⅰ（京都書房） 論読現代文Ⅰ（浜島書店）			
科目の目標 Course Objectives	様々な文章に取り組むことで読解力を身につけ、自己の文章力も育成していく。 現代文・古文・漢文にバランスよく取り組み、それぞれの授業だけでは補えない問題演習を行う。							
評価の基準 Assessment Standards	定期試験（80%）、提出物・授業態度（20%）の総合評価							
Term	Month	Week	学習内容&課題 Study Contents			到達目標 Students will be able to ~		
1 学期	4	1	(中間試験まで)			現 代 文： 評論や小説、随筆など、さまざまな文章に触れ、それぞれの特徴や読み方をしっかり身につけていく。  古 文： 4年生で学んだ文法事項を復習しながら、難易度の高い文法問題に取り組む。また、助動詞だけでなく、助詞などの接続から訳に反映する用法なども学び、文章の内容を自力で理解できるように取り組んでいく。		
		2	論読現代文Ⅰ 1～4					
		3	アドバンス古典Ⅰ 1～5					
	5	4	(期末試験まで)					
		5						
	6	6	論読現代文 5～8 (語彙プラス①を含む)					
	6	7	アドバンス古典Ⅰ 6～10					
8								
7	9							
	10							
2 学期	9	11	(中間試験まで)					
		12	論読現代文Ⅰ 9～12 (語彙プラス②を含む)					
		13	アドバンス古典Ⅰ 11～15					
		14						
	10	15	(期末試験まで)					
		16	論読現代文Ⅰ 13～16 (語彙プラス③を含む)					
		17	アドバンス古典Ⅰ 16～20					
		18						
	11	19						
		20						
		21						
		22						
12	23							
	24							
	25							
	26							
3 学期	1	27	(学年末試験まで)			どちらもセンター試験に取り組む。実際に自分がいまの実力でどれだけ得点できるのかを見る。  現 代 文： 読解力を向上させていき、正答率を上げられるように取り組んでいく。解いて答え合わせして終わりではなく、どこで間違えたのか読み直し、精度を上げていく。  古 文： 短歌や俳句の読み方を学び、修辞法から訳を導き出せるようにしていく。		
		28	論読現代文Ⅰ 17～20					
		29	(語彙プラス④、漢字の復習を含む)					
	2	30	アドバンス古典Ⅰ 21～26					
		31						
		32						
	3	33						
		34						
		35						

### 履修者へのメッセージ Message for Students

国語演習では、実践的な問題演習を通して、大学入試に向けての問題に取り組むための基礎を養っていく。

現代文や古文の授業だけでは、どうしても問題演習のみに取り組む時間は限られてしまうため、この授業でより多くの文章を読み、さまざまな形式の問題に取り組むことにより、読解力を高めていく。答えや解説を聞くだけでなく、自ら積極的に問題に取り組む姿勢が求められます。

教科 Subject	国語科		科目 Course	現代文	学年 Grade	6	単位数 Credits	3	
教科書 Textbook	精選 現代文B (大修館)			副教材Additional Text /materials	プレゼミ総合国語 (桐原書店) ニューグレード現代文2 (木原書店) 漢検 漢字学習トレーニング 3/準2/2級 (日本漢字能力検定協会)				
科目の目標 Course Objectives		様々な文章を読解し実践力を身につける演習形式で、主に中堅私大・国公立二次試験の入試対策をする。							
評価の基準 Assessment Standards		定期試験 (80%)、提出物・授業態度 (20%) の総合評価							
Term	Month	Week	学習内容&課題 Study Contents		到達目標 Students will be able to ~				
1 学期	4	1	(中間試験まで)						
		2	教科書「ひかりのどけき春の日に一日本人と桜」						
		3	「どんな人になりたかったか？」						
	5	4	「夢を建てる人々」						
		5	『ニューグレード現代文2』適宜進める						
	6	『プレゼミ総合国語』適宜進める							
	6	7	7	(期末試験まで)					
8			教科書「稼ぐだけが目的か」						
9			「鉄を削る」						
7	11	10	「『検索』時代における読書」						
		11	『ニューグレード現代文2』適宜進める						
		12	『プレゼミ総合国語』適宜進める						
2 学期	9	13	(中間試験まで)						
		14	『ニューグレード現代文2』適宜進める						
		15	『プレゼミ総合国語』適宜進める						
		16							
	10	17							
		18							
		19	(期末試験まで)						
	11	21	20	「待合室」「おぼろ月」					
			21	「星の王子さま」「鉄道員」					
			22	「こころ」					
23			『ニューグレード現代文2』適宜進める						
12	25	24	『プレゼミ総合国語』適宜進める						
		25							
		26							
3 学期	1	27	センター対策						
		28							
		29							
	2	30	私立大学対策						
		31	国公立2次対策						
		32							
3	34	33							
		35							

### 履修者へのメッセージ Message for Students

記述問題は、なかなか取り組みにくい難問と考えがちですが、記述問題こそが、国語の真の実力を問われます。正確な読解力と、それを文章にする表現力を地道に鍛えることが課題となります。マーク形式の問題にも対応できるようにします。毎回の授業を通して「自分で解答を作り上げる」ことの、努力をさせたいです。六年生の最大の目標は、卒業後の進路を決めさせることにあります。国語の試験のない大学は無いのだから、真面目に地道に取り組んでほしいです。

教科 Subject	国語科		科目 Course	古典	学年 Grade	6	単位数 Credits	2
教科書 Textbook	新編 古典B (大修館)			副教材Additional Text /materials	新編古典B 学習課題ノート (大修館) さくらさく古文単語 (浜島書店) ニューグレード古典2 (桐原書店)			
科目の目標 Course Objectives		これまで培った基礎知識を発展させ、より充実した内容の読解を目指す。						
評価の基準 Assessment Standards		定期試験 (80%)、提出物・授業態度 (20%) の総合評価						
Term	Month	Week	学習内容&課題 Study Contents		到達目標 Students will be able to ~			
1 学期	4	1	大鏡『道真左遷』		歴史物語への招待			
		2			歴史物語に慣れる。当時の文化背景を理解する。			
		3						
	5	4	源氏物語『桐壺』		源氏物語への招待			
		5	源氏物語『若紫』		源氏物語の代表的な章に触れ、源氏物語を知る。			
	6	6			物語に慣れる。敬語の使い方、当時の文化背景を理解する。			
		7	(古典文法：識別①～⑤)					
8								
7	9	9	諸子百家の説明		諸子百家への招待			
		10			それぞれの思想家の説を理解する。			
		11	道家・法家『無為自然』『小国力民』『混沌』のどれか					
2 学期	9	12	『侵官之書』					
		13	問題演習		センター試験・私大試験の対策を行う。			
		14	『ニューグレード古典2』					
		15						
	10	16	それぞれ問題演習を行っていく。					
		17						
		18						
		19						
	11	20						
		21						
		22						
		23						
12	24							
	25							
	26							
3 学期	1	27	センター試験過去問		センター試験・私大試験・国公立対策を行う。			
		28						
		29	私大入試問題					
	2	30						
		31	国公立入試問題					
		32						
	3	33						
		34						
		35						

### 履修者へのメッセージ Message for Students

5年生で学習した基礎知識を発展させ、より充実した読解を行う。枕草子や源氏物語など親しみのある作品に加え、評論や近代小説なども扱うことで総合的な知識の定着を図る。演習形式ではない丁寧な読解を行うので、ノート作りを中心にした予習は必須不可欠。積極的な姿勢で臨むようにする。



教科 Subject	国語		科目 Course	国語表現	学年 Grade	6	単位数 Credits	2
教科書 Textbook				副教材Additional Text /materials	基礎からベストex,小論文 (学研)			
科目の目標 Course Objectives			国語に関する教養を身につける。文章を書く力を養う。 問題演習を通して、解く力を養う。					
評価の基準 Assessment Standards			定期試験70%、提出物、授業態度30%					
Term	Month	Week	学習内容&課題 Study Contents			到達目標 Students will be able to ~		
1 学期	4	1	(中間試験まで)			基本的な文章の書き方を学ぶ。 原稿用紙の使い方を学ぶ。 小論文の文体を学び、自分の意見を文章化する。  実践問題を解くことによって、小論文の型を確立していく。 日頃からニュースを見たり、資料を集めたりして、 小論文のネタを集めておく。		
		2	基礎編 P.22~66					
		3						
	5	4	実践編 P.68~79 演習1まで					
		5	(期末試験まで)					
	6	実践編 P.80~99 演習2・3・4まで						
	6	7						
8								
2 学期	9	9	(中間試験まで)			AO入試、公募推薦入試が実際に始まる時期なので、 実践問題を解きながら自らの受験スタイルに合わせて 小論文を書く力を養う。		
		10	実践編 P.100~119 演習5・6・7まで					
		11						
		12						
	10	13	(期末試験まで)					
		14	実践編 P.120~141 演習8・9・10まで					
		15						
11	16							
	17							
	18							
12	19							
	20							
	21							
3 学期	1	22	私立大学、国公立2次対策を行う。					
		23						
		24						
	2	25						
		26						
		27						
	3	28						
		29						
		30						
3	31							
	32							
	33							
3	34							
	35							

#### 履修者へのメッセージ Message for Students

1学期には、原稿用紙の使い方と文章を書く能力を養い、基礎力をしっかりつけていきましょう。また、実践問題を解くことで、小論文を書くことに慣れていきましょう。

2学期は、受験へむけて実践的な力を養っていきます。問題演習を積み重ねることで、問題を解くことに慣れていきましょう。また授業で学習した部分を必ず復習しましょう。多くの問題を解く時間がなくなってくる時期ですが、復習をすることでスムーズに問題を解くことができる力が増すと思います。

